

花泉高校 Hanizumi

「達成」への花道 地域を賑わすヒーローが歩む

「昨年、昨年は公式戦未勝利のまま終わった。そんなチームが今年の夏、初戦でシートを破り、秋は3年ぶりに県大会へ出場。メンバーの大半は中学まで県大会を経験したことがなく、現在は選手・マネージャー合わせて11人のみ。大躍進の背景には何があったのか。」

きっかけは昨秋の地区予選。2試合とも1点差で、かつ連敗負けを喫した。これらの負けにより、「子どもたちが目の色を変えて冬のトレーニングに臨んだ」と新監督（部監督）の成果は春に現れ、地区予選の敗者復活戦で2勝、県大会出場こそかなわなかったが、この2勝が大きな自信となった。「ようやく勝てそうなのを喜んで、『勝ちたい』という気持ちを持てた。」

野球だけでなく、生徒会執行部や学級委員を務める部員が多く、校内ではリーダー的存在。また代々続いている地域のゴミ拾いや寒かきなどのボランティア活動が認められ、「小さな親切」実行章を受章したことも。さらに、2年前から発行しているマネージャー通信は、野球部の活動を校内外に周知させるため、地域の若るところに掲載している。もともと花泉という地域は野



中学卒業して東京で過ごし、高校野球への思いを捨てず花泉へ戻ってきた新監督。高校野球は生きがいである。



夏の大会を戦った行かれ、次に入部した部員も、今年も県大会出場への意気込みが感じられる。